

# 会 議 録

平成22年3月31日調製

審議会等名	平成21年度 第3回 社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成22年3月17日(水) 午後2時00分～4時10分		
開催場所	三条市中央公民館3階 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	社会教育委員 棚橋正明委員 桑原 理委員 安藤正之委員		
	阿部凉子委員 廣川邦夫委員 長田美智留委員		
	中村保夫委員 横山正美委員 山田宏高委員		
	本山昭格委員 阿久津文雄委員 杉野真司委員		
	宗村市民部長 金子生涯学習課長 久住子育て支援課長		
	捧中央公民館長 近藤生涯学習課課長補佐		
	小林生涯学習係長 山田主事		
	(欠席者) 目黒徳一委員		
議 題	(1) 平成21年度 生涯学習事業等事業報告について		
	(2) 平成22年度 生涯学習事業等事業計画について		
報 告	(1) 三条東公民館について		
	(2) 三条市文化振興基金について		
	(3) その他		
発言内容等			
廣川議長	<開会あいさつ>		
宗村市民部長	<市民部長あいさつ>		
廣川議長	次第に従い、議題(1)「平成21年度生涯学習事業等事業報告について」事務局から説明を願いたい。		
金子課長	生涯学習課事業について、資料に基づき説明する。		
	生涯学習事業として、社会教育委員会議を実施。また、成人式については今月21日を予定している。ボランティア養成講座については、それぞれ予定どおりに実施し、修了生はそれぞれの分野で活動して頂いている。		
	団塊の世代等社会参加促進事業については、資料のとおりである。		
	文化振興事業として、音楽イベントの楽音祭を実施した。天候に恵まれ		

	<p>ず、820名の参加となった。芸術鑑賞ツアーは年4回実施し、151名が参加した。</p> <p>文化財事業として、中心市街地歴史的建造物調査では、本町を中心に、建造物の調査を実施した。今月28日には報告会を予定している。文化財講演会については、国登録有形文化財に登録された歴史民俗産業資料館にちなんだ講演会を実施した。</p>
捧館長	<p>公民館事業について、現在継続中の事業もあるが、2月末時点の状況について、資料により説明する。</p> <p>中央公民館について、青少年教育として「ふれあい自然体験」を妙高市で実施し、非常に好評であった。「きっとたのしい！みんなで農業体験講座」については、各課と連携し実施しており、22年度も実施予定である。</p> <p>嵐南公民館について、成人教育の「ひまわり専科」や「ふるさと講座」が好評である。また、高齢者教育の講座も好評で、各館でも行っているが、充足率が高い事業である。</p> <p>井栗公民館について、青少年教育に力を入れており、好評を得ている。</p> <p>本成寺公民館について、青少年教育の「子どもの料理教室」が好評である。また、井栗公民館及び本成寺公民館は体育・レクリエーションなどの事業が盛んである。</p> <p>大崎公民館について、青少年教育の「どんぐりクラブ」、成人教育の「布ぞうりを編む」が好評であり、エコに配慮した事業も好評で、時代にマッチしている事業である。</p> <p>大島公民館について、青少年教育の「子ども体験講座」、成人教育の「和の再発見講座」などが好評であり、これも時代にマッチしている事業である。</p> <p>栄公民館について、栄地区の中学2・3年生全員を対象とした「ジュニア・リーダー研修会」実施した。また、体育・レクリエーションの「さわやかウォーキング教室」も好評である。</p> <p>下田公民館について、青少年教育の「通学合宿」を実施。今では全市で取り組んでいる。高齢者教室は「諸橋大学」の名称で実施し好評である。</p>
金子課長	<p>図書館事業について、資料に基づき説明する。</p> <p>子育て支援施設との相乗効果を目指した栄分館について、入館者数が前年と比べ約6倍に増加しており、三条市全体の入館者数で見ても大きく増加している。登録者数や利用冊数のいずれも増加しており、栄分館の効果が大きく現れている。</p> <p>歴史民俗産業資料館について、入館者数が2月末時点で昨年度の入館者数20,334人に対し21,460人と増加している。11月に実施した石川雲蝶展を新潟大観光年デスティネーションキャンペーンの一環とし</p>

	<p>て実施したことが入館者増の大きな要因となった。</p> <p>諸橋轍次記念館について、特別展を実施。また、全国に発信できるような事業の検討がされていたが、11月に諸橋轍次博士記念全国漢詩大会を実施した。平成22年度以降も実施を予定している。</p>
久住課長	<p>子育て支援課事業について、資料に基づき説明する。</p> <p>家庭教育事業について、公民館と打ち合わせをした中で、保護者が参加できるような仕組みづくりを考える中で、公民館とのすみわけを行い、保育所の事業や就学時検診などに併せて実施した。アンケートの回収率や満足度も高かったが、中学校就学時子育て講座では時間の設定などに苦慮し次年度さらに検討していきたい。放課後子ども教室については、現在裏館小学校、保内小学校で実施の準備を行っている。また、次世代育成支援行動計画の後期計画として、「すまいる子どもプラン」を策定した。</p>
廣川議長	説明を受けて質疑等あれば発言願いたい。
安藤委員	家庭教育講座について、学校別のアンケート結果は出ているのか。
久住課長	学校別で集計している。
安藤委員	P T A連合会に資料として提出いただきたい。
久住課長	後日提出したい。
阿部委員	<p>図書館事業の中で、栄分館の運営が好調である旨説明を伺ったが、嵐南分室の利用者数が減少しているが、理由をお聞かせいただきたい。また、嵐南分室の本は非常に古くなっており、新しい本は入れないのか。最後に図書館本館では、古くなった書籍を市民へリサイクル大会と称して希望者に配布している。それらの本を嵐南分室に回すことはできないのか、お聞かせいただきたい。</p>
金子課長	<p>嵐南分室の利用者数の減少については、栄分館に流れていると分析している。本の入れ替えについては、随時行っている。また、リサイクル大会に出している書籍については、過去にダブリを承知で購入した本や、使用に耐えない書籍であり、今までは廃棄していたものである。</p>
廣川議長	<p>それでは、議題（2）「平成22年度生涯学習事業等事業計画について」事務局から説明を願いたい。</p>
金子課長	<p>生涯学習課事業について資料に基づき説明する。</p> <p>重点目標では、現代的課題についての取り組みや、学習成果の地域還元 の仕組み作り、生涯学習課と公民館の役割・機能を明確にし、学習機会の提供を図るなど新たに盛り込んでいる。</p> <p>具体的な事業として、生涯学習事業では、社会教育委員会議の実施。年間3回を予定しており、2回目の会議が11月では遅いとの話をもらっている。委員より時期について立案頂きたい。他部局との事業連携について</p>

	<p>は、それぞれの課が実施している生涯学習事業について、連携を強め、実施していきたい。人材バンク名簿活用事業については、市民総合大学との連携で活用を図るとともに、名簿の活性化をしていきたい。</p> <p>芸術文化事業として、越後贅女唄保存・啓発事業は小林ハル110周年記念「木下晋が描いた小林ハル展」を三条東公民館で実施予定。音楽公演について、山形由美の公開レッスン付きフルートコンサートを予定している。なお、平成22年度については、公民館事業として実施する。ジュニア文化振興事業では合唱を予定している。子ども読書活動推進事業について、平成22年度が5ヵ年計画の最後の年となるので、第二次計画の策定を予定している。</p> <p>文化財事業として、中心市街地歴史的建造物調査については、詳細調査を予定している。有形民俗文化財整理・活用については、公開できるよう、民具の再整理作業を進めていく。</p>
捧館長	<p>公民館事業について、基本方針は、生涯学習課の基本方針に基づき策定している。重点目標については、各部署が抱えている行政課題や環境・健康など喫緊の課題について、各部署と連携して事業実施を行う。なお、各課が専門的に取り扱っている問題であることから、公民館では、違った切り口で実施していきたい。各館個別の事業について、三条東公民館については、若者向け講座等ターゲットを絞って実施していきたい。この他、各公民館の事業については、資料のとおりである。</p>
金子課長	<p>図書館事業について、重点的に目標に掲げさせていただいている失われゆく“三条の記憶”の収集・記録化について、昔の三条のお話の聞き取りなどを実施する「三条の記憶プロジェクト」事業の実施を予定している。</p> <p>歴史民俗産業資料館事業について、特別展として10月に「広川松五郎展」平成23年2月には図書館と連携した「三条の記憶展」の実施を予定している。</p> <p>諸橋轍次記念館事業について、博士の日を設定し、イベントを実施する予定である。この他未公開写真を使った「今よみがえる在りし日の博士展」などの実施を予定。</p> <p>子育て支援課事業については、資料はないが月岡養護学校で放課後子ども教室を実施予定である。</p>
廣川議長	<p>説明を受けて質疑等あれば発言願いたい。</p>
山田委員	<p>文化財事業について農業土木遺産について、三条市の歴史としてと取り上げていただきたい。また、神楽舞や虫送り、盆踊りなど絶えようとしている地域文化もあり、生涯学習課で集約していただきたい。</p> <p>次に、学校が荒れていることについて、学校と家庭ではどうにもできなく</p>

	<p>なっていており、地域で何かできないかという話がある。子育て支援事業の中には、家庭づくりに関する事業がないため、家庭づくりに関する事業について検討頂きたい。</p>
久住課長	<p>家庭をもつ前のプレパパやプレママ段階で家庭の作り方について学ぶ機会の提供や、家庭教育学習の推進として、学校の授業の中で子ども自身が家庭について学ぶ機会を設けるなど、すまいる子どもプラン策定の際にも学校教育課と検討している。</p>
阿部委員	<p>生涯学習事業について、学習成果を社会に還元できる仕組み作りに力を入れている部分について喜ばしく思う。</p> <p>次に芸術文化事業中のジュニア文化振興事業について教室が固定化しているように感じる。次世代を担うより多くの子どもたちにより芸術文化に触れ合う機会の提供をお願いしたい。また、三条東公民館も竣工することから、ジュニア文化振興事業等の実施や、既存事業である市民総合大学において、子どもが文化と触れあえる教室実施など、お願いしたい。</p>
金子課長	<p>三条の文化を育てる上でも、子どもへの芸術文化振興は大切であると感じている。子どもたちへの芸術文化振興は、文化振興基金の趣旨にも適うため、基金の運用をしていく中で、相談させていただきたい。</p> <p>山田委員の発言にあった農業土木遺産について、虫送りなどは資料として整理中である。なお、「まぶ」については、農林課に基礎資料があったため資料を整理している最中であり、実際の調査についても民俗文化を担当している専門の方から来てもらい整理していく予定で、現在専門員を探している最中である。</p>
山田委員	<p>集落に入らなくとも「まぶ」を見る事が出来る場所もあり、いざらいの時期もあるため、集落の区長に聴取することで、「まぶ」の場所も分かると思う。ぜひ専門の方を探して調査等実施していただきたい。</p>
長田委員	<p>子育て分野への要望として、義務教育を終了する時期が学校教育から、社会教育へ入る入り口であると考えており、義務教育終了を目前にした中学生に対し、三条市の各取り組みの紹介を行う講座などがあってもよいのではないかと。また、子どもたちは大人や学生ボランティアなどと一緒に活動するような事業や仕組み作りをしてもらいたい。</p>
安藤委員	<p>資料の中で平成21年度の親子広場の実績が入っていないのはなぜか。</p>
捧館長	<p>平成21年度事業として現在継続中であり、継続中の事業については実績を載せていない。</p>
安藤委員	<p>公民館の分館について、指定管理者制度は考えているか。</p>
捧館長	<p>公共施設運営計画では、地域コミュニティの要望に応じて導入することとしているが、現状指定管理者制度を導入するまでには至っていない。</p>

安藤委員	放課後子ども教室と従来の児童クラブの役割の線引きが曖昧である。今後の事業方針などがあれば、お聞かせいただきたい。
久住課長	児童クラブについては、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生の保育を行う場であり、学校内にあるものと児童館内にあるものの二つの形態がある。それに対し放課後子ども教室は、安全・安心な子どもの活動拠点の場であり、現在は児童クラブとの連携をはかりながら、児童クラブを学校内に有する場所で実施している。なお、学校から離れた児童館を持つ学校については、空き教室がないなど様々な問題が山積しており、現在どのようにしていくか模索中である。
安藤委員	学校内に児童クラブを置くようにしていただきたい。
久住課長	小中一貫校を建設する際には学校内に児童クラブを置き、放課後子ども教室を実施することを基本的な考え方としている。
中村委員	生涯学習事業について、社会教育委員会議に課せられた役割の中で、社会教育計画に関する諸計画の立案とあるが具体的にお聞かせいただきたい。また、他部局との連携について、他部局の事業についての情報を頂き一緒に連携の方法等について検討していきたい。
金子課長	これまでも社会教育委員会議についてはこの文言を使用していたが、具体的には、委員から意見を頂いた中で、毎年度発行している「三条市の生涯学習」が諸計画の立案に当たる。また、他部局で実施している事業については、情報提供出来るようにしていきたい。
廣川議長	それでは、報告（１）「三条東公民館について」事務局から説明を願いたい。
捧館長	三条東公民館は、第二中学校区の地区公民館であり、中央公民館と補完し合う公民館でもある。４月４日にオープニングイベントを実施する予定であり、４月をオープニング月間として土日を中心にイベントを実施していきたい。また、エコ施設という事で、太陽報発電やLED照明、ペレットストーブを配し、ユニバーサルデザインにも配慮している施設となっている。
廣川議長	報告を受けて質疑等あれば発言願いたい。 質疑等が無いようなので報告（２）「三条市文化振興基金について」事務局から説明願いたい。
金子課長	現在議会に上程している本件について、厳しい経済状況の中、市民文化会館建設基金の目的がなかなか達成できないため、条例を全部改正し、名称及び設置目的を変えることとした。従来は文化会館の建設にしか使えなかったが、内容によって取り崩しが可能な中身となっている。平成２２年度は三条東公民館へのグランドピアノ、展示パネル、ジュニア文化振興事業、

	音楽公演などに使っていくように考えている。
阿部委員	三条東公民館に足りないものがあるから取り崩すといった考え方だと、基金はすぐに尽きてしまう。文化振興基金の有効的な使い方について検討するための委員会等を設けてもらいたい。
金子課長	文化団体協会や美術協会、音楽協会などから意見をもらう機会を設けたいと思っている。ジュニア文化振興についても機会を設け、社会教育委員からも意見を頂きたい。
廣川議長	それでは報告（3）「その他」について事務局から報告願いたい。
金子課長	一括説明したい。 まず「さんじょうまなび手帳」について、前回会議の中で市主催以外の事業についても対象としてはどうかという意見が出たことについて、4月1日の広報紙等で募集をかける予定でいる。 次に3月21日に開催する成人式については、すでに案内してあるとおりですので、ご出席をお願いします。 最後に組織機構について、平成21年度業務改善を行った中で、生涯学習係と文化振興係を統合し、文化振興係とした。係名については、様々に検討した中でこのような形となった。業務改善の内容としては、現在の事業を再整理し、生涯学習課と公民館との機能を明確化した。
廣川議長	それでは4「今後のスケジュール等」について事務局より説明願いたい。
小林係長	<各種研究大会の日程について説明>
廣川議長	全体を通して質疑等あれば発言願いたい。 無いようなので、以上をもって第3回社会教育委員会議事を終了する。長時間にわたる熱心な議論に感謝する。

午後4時10分 閉会